

看護英語	1年・後期	1単位	講師 牧田 義也
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310231

### 1. 授業のねらい・概要

近年、訪日外国人観光客・外国人労働者の増加にともなう、日本の医療現場でも英語で対応することが求められる場面が増えつつある。この授業では、医療現場において英語を用いた的確な意思の疎通を図るとともに、異なる背景をもつさまざまな人々の医療ニーズを読み取り、積極的な対応を行うための看護英語を学ぶ。

### 2. 学修の到達目標

1. 英語で基本的なコミュニケーションを行うことができる。
2. 医療現場において、専門用語を交えながら、英語で適切な意思疎通を図ることができる。
3. 医療現場で求められる説明を、専門用語を交えながら、英語で伝達することができる。

### 3. 授業の進め方

テキストを用いながら、医療現場で用いられる専門用語を習得するとともに、積極的にコミュニケーションを図る能力を培う。また、具体的な状況を想定したロールプレイを行い、実践的なリスニング・スピーキング能力を涵養する。さらに、これらの会話練習を通じて、多様な背景をもつ人々の文化や価値観の違いについて考える想像力を養う。

### 4. 授業計画（講義）

1. ガイダンス	9. 症状の持続時間を尋ねる
2. 励ましの声をかける	10. 検査の手順を説明する
3. 病状を尋ねる	11. 入院患者と会話する
4. 気分を尋ねる	12. 手術前後の説明をする
5. 問診票の記入	13. 薬の説明をする
6. 病院内を案内する	14. 文化の違いによる心配事を聞く
7. 症状を尋ねる	15. 退院後の説明を行う
8. 痛みの場所を聞く	

### 5. 成績評価の方法・基準

中間試験 30%、期末試験 40%、積極的な授業参加 30%

### 6. テキスト・参考文献

テキスト：Maki Inoue and Toshiya Sato, Lifesaver, New Edition: Basic English in Medical Situations (Tokyo: National Geographic Learning, Cengage Learning K.K., 2019).

参考文献：授業中に適宜伝える

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

初回の授業で配布された詳細日程表に基づいて、次回の講義で学習する範囲を予習しておくこと。授業後は個人および複数名で、学習した会話の練習を反復すること。これらの予習・復習には90～120分程度を要する。

### 8. 受講上の留意事項

授業には、英和・和英辞書（電子辞書を含む）を持参すること。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

筆記試験は採点のうえ返却する。口頭試験については講評を行う。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

### 11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。